

ウィズ・コロナ時代のまちづくり とJCI仙台に求められるもの

公益社団法人仙台青年会議所（JCI仙台）は70周年の節目を迎えた。人と人との関係が希薄になってきている時代だからこそ、その活動と役割の大切さがいま、クローズアップされている。

（進行・仙台経済界）



公益社団法人 仙台青年会議所
理事長 菅原 啓太氏

世界は、新型コロナウイルス感染により100年ぶりのパンデミックに襲われ、翻弄されています。

新型コロナウイルスばかりでなく、感染症対策の専門家としてさまざまな場面で活躍されている藤村茂東北医科薬科大学大学院薬学研

究科臨床感染症学教授をお招きし、ウィズコロナ時代のまちづくりとJCI仙台の役割などについて、話し合っていました。

菅原 テレビなどで毎日、新型コロナウイルス感染症についてさまざまな報道がなされていますが、特徴



藤村 どれだけのスピードで変異するのか、また広がっていくのか予測はできません。ただ、今回の変異株は強毒株ではありません。分かりやすく言えば、人に致命的ダメージを与えず感染を拡大させたたかなウイルスなのです。

菅原 変異株の国内感染状況はどうなのですか。

藤村 緊急事態宣言に準じたまん

「JCI仙台は仙台の未来を常に考える組織へ」

コロナ禍の中で、JCI仙台の役割をどのように考えていますか。

菅原 JCI仙台のメンバーには、医療関係や士業など専門的な知識をお持ちの方や市議会議員の方などコロナ対策に役立つ知識や情報を持っている方が多数在籍しています。メンバー同士が共存共栄で組織のネットワークをうまく活用することや、新型コロナウイルスに対する有益な情報交換も行われており、この力を内にも外にも活かすことが非常に重要であり、それがJCI仙台の価値につながっていくと考えております。

藤村 その視点はとても重要だと思えます。若い経営者の皆さんが正しい知識と情報に基づいて行動していくことこそ、社会を大きく変えていきます。行政はマンパワーに限られています。その点、JCI仙台は非常に小回りが効く組織ですから、決して活動領域を持たないで、しっかり行動してもらえたいと期待しています。



東北医科薬科大学大学院薬学研究所
臨床感染症学教室
教授 藤村 茂氏

「一人ひとりの基本的な感染対策の実行しかない」

菅原 JCI仙台のメンバーにはさまざまな業種のメンバーがおりますが、感染を防ぐためには、どのような行動が求められますか。

藤村 JCI仙台の方々でも影響は出ているのでしょうか。

菅原 影響はありますね。目に見えて分かるのは飲食業です。飲食店

藤村 よく言われている、マスク着用、三密回避、手洗いなどの徹底しかありません。ただ、市民の中には、こうした対策実施に飽きてる人がいるかもしれません。一部の人はノーマスクを主張してトラブルになっています。

私は大学の入学式後に、新型コロナウイルスの感染対策について学生に講演しました。新型コロナウイルスに感染すると、20〜30代の若い方は、約10%の割合で、激しい咳や脱毛などの後遺症が4カ月も続くのです。4カ月ですよ、これは大変な苦痛を伴います。仕事も勉強もまともにできなくなります。

ですからぜひ、罹らないように基本的な感染対策を一人ひとりに実行してほしいのです。

菅原 私は、世界中に蔓延している新型コロナウイルスの変異株についてお話しします。1回目の変異は20年4月に起きています。新型コロナウイルスは、情報を持つ約3万の塩基で構成されたRNAウイルスで、数力所の変異で表現型が劇的に変わることがあります。20年2月頃は武漢型だったのですが、その後わずか2週間で欧州型に変異しました。それには、われわれ専門家も驚きました。いまはN501Y変異とE484K変異株が国内で広がっており、前者の変異株の特徴は、感染

や変異株、社会情勢などについて先生の見解をお伺いしたいです。

「変異株の感染力は強く、子どもにも感染しやすいです」

藤村 いま、世界中に蔓延している新型コロナウイルスの変異株についてお話しします。1回目の変異は20年4月に起きています。新型コロナウイルスは、情報を持つ約3万の塩基で構成されたRNAウイルスで、数力所の変異で表現型が劇的に変わることがあります。20年2月頃は武漢型だったのですが、その後わずか2週間で欧州型に変異しました。それには、われわれ専門家も驚きました。いまはN501Y変異とE484K変異株が国内で広がっており、前者の変異株の特徴は、感染

力がとても強いことです。大人は、新型コロナウイルスと結合するレセプターが多数存在しているため、昨年から感染者が多い。その一方、子どもが感染しにくいと言われたのは、そのレセプター数が少ないためと考えられています。しかしN501Y変異株は、レセプターが少ない子どもにも効率的に感染します。

ウィルス自ら生き残るためにどんな変化して、多くの方に感染を広げていきます。感染が強い株が有利になり、強い株だけが生き残ります。

菅原 何にでも生存性があるので、下手な鉄砲も数撃ちや当たるといふ形でしょうか。ウィルスが変異することを予測することはできるものなのですか。

●プロフィール●
ふじむら・しげる
1966年、盛岡市生まれ。2007～2012年、東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門准教授。医学博士。日本環境感染学会理事。日本化学療法学会理事、日本感染症学会評議員。東京オリ・パラ2020を始め、仙台市が関わる様々なイベントなどの新型コロナウイルス感染対策を監修、助言を行っている。